

金沢21世紀美術館 交流課事業

まるびい シネマ・パラダイス! VOL.3

## アイ色のシンデレラ

～フィルムにこぼれる宝石たち～



イラスト：小野寺加純

2016年10月1日(土)・2日(日)

80年代アイドル映画を一挙上映!

「セーラー服と機関銃」、「時をかける少女」、「ぼくらの七日間戦争」…

フィルムから「時代の色」が見えてくる。

あなたはアイドルたちから何色を感じますか?

イベント名	まるびい シネマ・パラダイス! VOL.3 「アイ色のシンデレラ～フィルムにこぼれる宝石たち～」	
日時	2016年10月1日(土) 10:00/13:00/15:00 2日(日) 10:00/13:00(以上映画上映)/15:00(トークイベント) ※各回10分前開場	
会場	金沢21世紀美術館 シアター21	
料金	[1回鑑賞券] 一般 500円/大学生以下 300円 ※大学生以下の方は要学生証提示 [フリーパス] 一般 1,700円/大学生以下 1,000円 ※フリーパスは限定50枚・前売販売のみ	
取扱	窓口販売:金沢21世紀美術館ミュージアムショップ TEL 076-236-6072 Web予約(フリーパスのみ):イベントページ申込フォーム <a href="http://www.kanazawa21.jp">www.kanazawa21.jp</a> ※当日受付にて精算	
主催	まるびいシネマ・パラダイス! 実行委員会、金沢21世紀美術館[(公財)金沢芸術創造財団] 文化庁、東京国立近代美術館フィルムセンター	
協賛	株式会社松竹ブロードキャスティング	協力 金沢美術工芸大学、金沢大学映画研究会 有限会社シネモンド、株式会社オーエムシー

平成28年度優秀映画鑑賞推進事業

お問合せ 金沢21世紀美術館 広報室 TEL 076-220-2814

取材申込み/問合せ先

金沢21世紀美術館 広報担当:川守(広報室) 事業担当:高橋(交流課)  
〒920-8509 金沢市広坂1-2-1  
TEL 076-220-2814 FAX 076-220-2802  
<http://www.kanazawa21.jp> E-mail: [press@kanazawa21.jp](mailto:press@kanazawa21.jp)  
※ご取材の際には、事前にご連絡をお願いします。



## まるびい シネマ・パラダイス!とは

この上映会は、フィルムに魅せられた学生たちとフィルム全盛期に映画に親しんだ世代が交流しながら、企画・運営しています。映画史に残る名作をデジタルではなく、フィルムで上映することにこだわり、併せて、上映技術の継承にも取り組むことで、金沢におけるフィルム上映の環境を市民に提供し、次代につないでいくことを目的としています。

twitter: @maru\_cinema\_pa

## 「アイ色のシンデレラ～フィルムにこぼれる宝石たち～」の見どころ

### 1.色が鮮やかに出るフィルムでの上映であること

フィルムとデジタルとの違いは、色の鮮明さにあります。デジタルの「黒」が色を合わせてつくられた黒であるのに対し、フィルムの黒は物質的に光が遮断された黒であるため、黒のきれやグラデーションの深さが違います。また、フィルム映像には独特の「ぶれ」があり生き生きとした臨場感を味わえます。「まるびい シネマ・パラダイス!」では、フィルムでの上演にこだわり、フィルムでしか表せないアイドルたちの「色」を鮮やかに映し出します。

### 2. 映画から見えてくる80年代のアイドル像

今回、上演作品をセレクションするにあたり、「まるびい シネマ・パラダイス! 実行委員会」の大学生は、とっつきやすく、かつ、時代を象徴するアイドルが出演している作品を選びました。

80年代のアイドルは、さわやかで、さっぱりしていて、清潔感があって、「大和撫子」のおしとやかさも備えていて、『タッチ』の”ミニちゃん”のイメージを体現していると彼らは言います。それに比べて、今のアイドルは、アニメのように2次元的で、でも昔に比べて自由に青春をおう歌しているようにも見えらる。時代に求められるアイドルの「かわいらしさ」にも違いがあるようです。

80年代のアイドルたちを見ていて、今の大学生が感じたのは「アイ」色でした。愛らしさの「愛」でもあり、清潔感を感じる「藍(青)」でもあり、哀愁の「哀」でもある。さまざまな意味を重ねた「アイ」色のアイドルたちの永遠の輝きをご堪能ください。

### 3. 「ぼくらの七日間戦争」伝説の菅原比呂志監督がトークゲストに登場!

今回の「まるシネ」トークゲストには、今でも映画ファンから絶大な支持を受ける伝説の青春映画「ぼくらの七日間戦争」の菅原比呂志監督にご登場いただきます。当時と今の映像・撮影技術の違い、フィルムとデジタルの違い、そして監督から見た宮沢りえのことまで、学生からの質問に答えていただきます。アイドル映画を通して、80年代世代と今の世代が語り合う世代間交流の場となればと考えています。

## トークイベント 「ぼくらの七日間戦争」菅原比呂志監督登場!

監督に突撃! 映画製作の舞台裏!

今回のトークゲストはなんと「ぼくらの七日間戦争」の菅原比呂志監督です! 貴重な制作秘話や、監督から見たアイドル映画についてのお話をたっぷり聞かせていただきます。映画鑑賞後に直接監督からお話が聞ける貴重な機会です。学生を交えてのトークも予定! 是非お越しください!

日時: 10月2日(日) 15:00

会場: シアター21

料金: 無料(ただし1回鑑賞券又はフリーパスの半券が必要)



2

菅原比呂志(菅原浩志) SUGAWARA Hiroshi

北海道札幌市出身。高校卒業後、UCLA 芸術学部映画テレビ学科に留学。帰国後、『里見八犬伝』等でプロデューサーを務めた後、初監督作品『ぼくらの七日間戦争』を製作。この作品はブルーリボン作品賞、くまもと映画祭監督賞を受賞し、「日本映画100本」の一冊に選ばれた。他受賞歴多数。2004年より徳山大学客員教授。環境省主催のホタルレンジャー審査員。ちぎり文学賞審査委員長。豊橋まつり総合プロデューサー。

## 上演作品 解説:まるびい シネマ・パラダイス!実行委員会

## 時をかける少女 10/1 10:00

「アイドル映画の第一人者」にして「映像の魔術師」と称される大林宣彦監督のSFジュブナイル作品。原田知世はこの作品で有名となり、一躍スターとなった。

1983 / 大林宣彦 / 角川春樹事務所 / カラー / 104分 出演:原田知世、尾美としのり、高柳良一 ほか  
もしもどこかに現実よりも理想の愛があるとしたら……。中学生の芳山和子は、ある事件をきっかけに同じ時を再び繰り返す、“タイムリープ”の能力を得る。しかしこの事件には秘密が隠されていた！多数のメディアミックスでも知られるSF 文学作品の映画化第一作目。監督の出身地である尾道の情緒溢れる風景にも注目。(中谷沙貴)



3

## 野菊の墓 10/1 13:00

原作は伊藤左千夫の小説で映画化は本作で3作目。マキノ雅広監督の助監督を長く務め情緒を重んじた演出に定評のある澤井信一郎監督の初監督作品にして当時人気絶頂だった松田聖子の初主演映画。

1981 / 澤井信一郎 / 東映 / カラー / 91分 出演:松田聖子、桑原正、村井国夫 ほか

トップオブアイドル松田聖子の初主演映画。その存在感はまさに伝説。悲しい運命を背負ったヒロイン、民子を演じます。そんな彼女を追いかける青年の一途な姿は、当時のファンの気持ちを代弁しているかのよう。劇中で聖子ちゃんが生歌を披露するシーンは必見です。(坪井一)



4

## セーラー服と機関銃 10/1 15:00

赤川次郎の長編小説を映画化した相米慎二監督作品。初主演の薬師丸ひろ子の人気を決定づけ、興行的にも記録的な大ヒットとなった。

1981 / 相米慎二 / 角川春樹事務所、キティ・フィルム / カラー / 112分 出演:薬師丸ひろ子、渡瀬恒彦 ほか

ある日突然ひょんなことからヤクザの組長になり、普通じゃない青春を送る主人公。登下校ではなく殴り込み、スクールバックのかわりに機関銃を持った女子高生の青春はアイの物語。エンドロールの歌声が切なく響きます。(岡田まい)



5

(C) KADOKAWA1981

## 伊豆の踊子 10/2 10:00

アイドル山口百恵が初主演を飾った西河克己監督作品。川端康成の短編小説が原作で、映画化は本作で6回目。監督にとっても本作は2度目の映画化となる。

1974 / 西河克己 / 東宝 / カラー / 82分 出演:山口百恵、三浦友和、中山仁 ほか

山口百恵の主演作品です。伊豆を旅した学生の淡い恋の物語です。山口百恵が演じる旅芸人の踊子ひたむきさ、そして純粋さ。そこにだんだんと惹かれていく主人公の学生。現代から見るとジレンマを抱えてしまう、その微妙な立場が彼らをどのように導くのか。生きていくことの難しさを感じるのではないのでしょうか。(山田健太)



6

## ぼくらの七日間戦争 10/2 13:00

菅原比呂志監督が初監督を務めた青春アナーキーフィルム。原作は宗田理の同名小説。宮沢りえが初主演を飾り、音楽は小室哲哉が担当した。

1988 / 菅原比呂志 / 角川春樹事務所 / カラー / 94分 出演:宮沢りえ、五十嵐美穂、安孫子里香 ほか

こんな中学生生活送ってみたかった！！ 繊細で反抗心の強いお年頃の彼らを、中学生だからといって甘く見るなよ！ 拳を握りしめながらドキドキワクワクハラハラできる最高の青春映画です！ 宮沢りえのノースリーブとデニム姿が眩しい……！ (川邊優美子)



7

## 広報用画像

画像1~7を広報用にご提供いたします。

ご希望の方は下記をお読みの上、下記へお申し込みください。

金沢 21 世紀美術館 広報担当/川守(広報室)

〒920-8509 金沢市広坂 1-2-1

TEL 076-220-2814 FAX 076-220-2802

http://www.kanazawa21.jp

E-mail: press@kanazawa21.jp

<使用条件>

※トリミングをご遠慮ください。画像が切れたりキャプション等の文字がかぶったりしないよう、レイアウトにご配慮ください。

※情報確認のため、お手数ですが校正紙を広報室へお送りください。

※アーカイブのため、後日、掲載誌(紙)、URL、番組収録のDVDなどをお送りください。

以上、ご理解とご協力を頂けますようお願い申し上げます。